

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福岡県筑紫野市

3 地域再生計画の区域

福岡県筑紫野市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、令和 2（2020）年 10 月に行われた国勢調査では 103,311 人、また、令和 4（2022）年 12 月末時点での住民基本台帳では 106,448 人となっている。一方、国立社会保障・人口問題研究所が平成 30 年 3 月に公表した推計や、住民基本台帳を用いた本市独自の推計のいずれにおいても、本市の人口は、令和 2（2020）年から令和 7（2025）年頃までにピークを迎え、その後減少に転じると予測されている。

年齢 3 区分別人口については、2018 年から 2021 年にかけて年少人口（0～14 歳）は 15,073 人から 15,209 人、生産年齢人口（15～64 歳）は 63,190 人から 62,822 人、老年人口（65 歳以上）については 25,513 人から 27,309 人と推移しており、生産年齢人口の減少と高齢化が顕著になりつつある。

自然動態については、2010 年以降、出生数の減少と死亡数の増加により、自然増（出生－死亡）の値も減少傾向にあり、2021 年には 35 人の自然減となっている。また、合計特殊出生率については、2019 年には 1.74 となっており、全国及び県平均と比較して高くなっているが、人口置換水準である 2.07 には届いていない。

社会動態については、2000 年代後半からは社会増（転入－転出）の値が減少傾向となり、2021 年には 876 人の社会増となっている。

今後人口減少が進むことで、人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮

小が人口減少を加速させるという負のスパイラル（悪循環の連鎖）に陥ることが懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の妊娠・出産・子育ての希望を叶える施策を展開し、人口の自然増に繋げる。また、市の魅力を発信し、移住の促進に取り組むとともに、就業機会の拡大や地域をまもり活性化するまちづくり等を通して、人口の社会減に歯止めをかけるため、本計画期間中、次の掲げる基本目標を掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 まちに活力をもたらす産業の振興と雇用の創出
- ・基本目標 2 まちの魅力の向上と新たな人の流れを促す情報発信
- ・基本目標 3 誰もが子どもを生き育てやすいと感じるまちづくり
- ・基本目標 4 安全安心な暮らしを守る、時代にあった地域づくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内事業所数	2,495社	2,370社	基本目標 1
	観光入込客数	1,278千人	1,791千人	
イ	人口の社会増減	876人/年	177人/年	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.57	1.64	基本目標 3
	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	95.3%	96.2%	
エ	地域（コミュニティ・行政区等）において、まちづくりが進められていると思う市民の割合	64.1%	75.2%	基本目標 4
	筑紫野市を住み心地が良いと感じる市民の割合	85.6%	89.8%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア まちに活力をもたらす産業の振興と雇用の創出事業

イ まちの魅力の向上と新たな人の流れを促す情報発信事業

ウ 誰もが子どもを生き育てやすいと感じるまちづくり事業

エ 安全安心な暮らしを守る、時代にあった地域づくり事業

② 事業の内容

ア まちに活力をもたらす産業の振興と雇用の創出事業

商工業や農業等の産業振興を図ることにより、まちのにぎわいと就業機会を創出する事業

【具体的な事業】

- ・地域資源・産業を活かした地域の競争力強化
- ・専門人材の確保・育成
- ・働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保 等

イ まちの魅力の向上と新たな人の流れを促す情報発信事業

本市の魅力を積極的に発信することにより、移住・定住の促進による人口の社会増や関係人口の創出、拡大を図る事業

【具体的な事業】

- ・移住の推進
- ・若者の修学・就業の推進
- ・関係人口の創出・拡大
- ・地方への資金の流れの創出・拡大 等

ウ 誰もが子どもを生き育てやすいと感じるまちづくり事業
妊娠・出産・子育ての切れ目のない一体的な支援等に取り組むことにより、出生率の向上や女性の活躍推進を図る事業

【具体的な事業】

- ・結婚・出産・子育ての支援
- ・仕事と子育ての両立
- ・地域の実情に応じた取り組みの推進 等

エ 安全安心な暮らしを守る、時代にあった地域づくり事業

人口減少の時代を見据えて、質の高い暮らしのためのまちの機能の充実や地域資源を活かした個性あふれる地域の形成に取り組む事業

【具体的な事業】

- ・質の高い暮らしのためのまちの機能の充実
- ・地域資源を活かした個性あふれる地域の形成
- ・安心して暮らすことができるまちづくり 等

※なお、詳細は第2期筑紫野市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

540,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度12月頃に、産官学金労等の外部有識者による筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進委員会にて効果検証を行い、必要に応じて翌年度以降の施策の改善方策を検討する。また、検証結果については、速やかに本市WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで